

鍼灸科

灸実技 6

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	実技	時間数	30	単位	0	
担当教員	矢野恭一郎			実務経験	有	職種	鍼灸師					

授業概要

東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。

到達目標

東洋医学、中医学の診断方法から得た情報をもとに弁証論治が出来る。その弁証論治に沿い、鍼、灸それぞれの補瀉手技が出来る。補瀉手技の技術を把握、獲得したことにより中医学的治療が出来るようになる。また、中医学の奥深さを知り、繊細な鍼灸技術を身につけることが出来る。

授業方法

中医学の治法に基づいた鍼と灸それぞれの技術、手技量学を理解し身につけ、代表的な各疾患において弁証論治、施術が出来ることを目的とする。

成績評価方法

期末試験(筆記試験)。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋療法学校協会指定教科書

回数	授業計画
第1回	眩暈
第2回	咳嗽
第3回	鼻閉鼻汁

鍼灸科

灸実技 6

第 4 回	腹痛
第 5 回	疲労倦怠
第 6 回	食欲不振
第 7 回	便秘
第 8 回	下痢
第 9 回	高血圧、低血圧
第 10 回	不眠
第 11 回	のぼせ、冷え
第 12 回	顔面痛、顔面麻痺
第 13 回	肩こり
第 14 回	痺症①
第 15 回	痺症②